

まずはご相談ください！ ☎ (0776)55-2100

**常設窓口知財専門家相談会**  
13:30~16:45(予定)

(原則) 毎週木曜日 弁理士  
(原則) 毎月最終水曜日 弁護士

無料 要予約

**臨時窓口  
相談会**  
13:00~16:00(予定)

下図の商工会議所・  
商工会等で開催  
日程・会場はホームページ等で  
ご確認ください。

**嶺南窓口  
相談会**  
13:00~15:00(予定)

(原則)  
毎月第3月曜日

※臨時窓口でも、相談内容によっては知財専門家(弁理士・弁護士)が無料で対応します。

- 坂井市商工会 本所  
〒919-0521  
坂井市坂井町下新庄2-10-1
- 福井商工会議所  
〒918-8580  
福井市西木田2丁目8-1
- 鯖江商工会議所  
〒916-8588  
鯖江市本町3丁目2-12
- 嶺南窓口 (産業支援センター 嶺南サテライトオフィス)  
〒914-0063  
敦賀市神楽町2丁目2-4  
(キッズパークつるが2階)  
TEL:0770-24-3918
- 小浜商工会議所  
〒917-8533  
小浜市大手町5-32
- 常設窓口  
〒910-0102  
福井市川合鷲塚町61字北稲田10  
福井県工業技術センター 1階  
福井県発明協会内
- 勝山商工会議所  
〒911-0804  
勝山市元町1丁目18-19
- 大野商工会議所  
〒912-0083  
大野市明倫町3-37
- 武生商工会議所  
〒915-8522  
越前市塚町101

相談会の日程はこちらをご覧ください。

**常設窓口(INPIT福井県知財総合支援窓口)までのアクセス**

●駐車場からのご案内

福井県福井市川合鷲塚町61字北稲田10(福井県工業技術センター1階)

- えちぜん鉄道「鷲塚針原駅」より 徒歩 約20分
- 京福バス「つくしの団地」より 徒歩 約3分
- ハピラインふくい「春江駅」より 徒歩 約25分

●えちぜん鉄道「鷲塚針原駅」より 徒歩 約20分 ●京福バス「つくしの団地」より 徒歩 約3分 ●ハピラインふくい「春江駅」より 徒歩 約25分

リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

知財は、ここから。



インピット

# INPIT

## 福井県 知財 総合支援窓口



様々な知財に関する経営課題を専門家や支援機関と連携して解決する窓口

**具体的な支援メニュー**

- ◎知的財産制度の概要説明
- ◎特許・商標などの手続き支援 (電子出願支援等)
- ◎知的財産戦略策定支援 (職務発明規定、知財管理体制、ブランド化)
- ◎海外展開支援 (外国出願助成制度等)

▶毎週木曜日専門家(弁理士)、月末水曜日は弁護士による無料相談会を開催！要予約

相談無料！

秘密厳守！

TEL.0776-55-2100



開設時間 毎週月曜日から金曜日(土日祝祭日、年始年末除く) 9:00~12:00 13:00~17:00 事前予約制

〒910-0102 福井県福井市川合鷲塚町61字北稲田10 (福井県工業技術センター1階)

受託事業者:一般社団法人 福井県発明協会

INPIT 福井県 検索

# 「INPIT福井県知財総合支援窓口」では、

特許や商標など知的財産に関するさまざまな悩み・課題について幅広く相談を受け付け、弁理士等の専門家や関係する支援機関と連携して**ワンストップサービス**を行います。秘密厳守!相談無料!

▶ 毎週木曜日知財専門家(弁理士)、月末水曜日は弁護士による無料相談会を開催! 予約必要

## ご相談の流れ



### Q 自社の技術やデザインを守る方法を教えてもらえないか?

A 特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)を用いた先行技術文献の調査方法のポイントを説明します。

### Q 新製品の商品名について商標登録出願したいのだが?

A 特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)を用いた商標検索のポイントを説明します。

### Q 自分で特許出願手続き、商標出願手続きしたいが自信がない。

A 電子出願端末機が設置されています。出願手続きをサポートします!

### Q 海外展開に向けて知財の支援策を知りたいのだが。

A 外国出願の権利化に要する費用の補助金申請をサポートします。(INPIT 外国出願補助金サイトへ)

### Q 権利侵害の警告書が届いた。

A 権利侵害等、訴訟問題に詳しい専門家のアドバイスが受けられます!



- 営業秘密保護に関する支援
- 連携機関である県内支援機関との協働支援
- 各分野の専門家(弁理士・弁護士他)との協働支援
- 秘密保持・共同開発等の契約書支援

## 支援担当者



**奥田 千鶴**  
(おくだ ちづる)  
自動車部品メーカー知財部出身。知財戦略策定等の経験が豊富。



**鈴木 誠一**  
(すずき せいいち)  
地場産業企業(知財管理業務)出身。知財ライセンス等の渉外業務の経験あり。



**吉田 勇人**  
(よしだ はやと)  
民間企業での知財実務を10年以上携わり、商標分野、技術契約分野の経験が豊富。



**太刀内 晃紀**  
(たちうち こうき)  
民間企業での知財実務経験20年以上!



**翠 浩二**  
(みどり こうじ)  
民間会社で化学品の研究開発と知財管理に携わり、2020年からは他県で知財窓口支援を経験あり。

# INPIT福井県知財総合支援窓口での支援事例

## 会社ロゴの商標登録でブランドを発信!

### 【田中農園株式会社】 <https://tanakanouen-fukui.com>

福井県北部の肥沃な坂井平野で、白山山系を源流とした九頭竜川の綺麗な水を利用して農水省ガイドラインに沿った「特別栽培米」の米作りをする大規模農業法人。



商標登録第6930634号

#### 支援概要

ロゴの商標登録に向け当窓口と専門家にて支援を行い、主商品の米や農産物をはじめ、米を運ぶ用のかばん類にまで権利を広げ、ブランディングに貢献できるよう出願助言を行った。すべての指定商品において無事登録に至る。これを機に同社では「知的財産の保護」への理解が深まり、農作業を効率的に進めるための創意工夫、アイデアについての特許出願についても当窓口と専門家にて支援を進めている。

#### 支援成果

「田中農園」と似たような名称の会社、農業法人、個人事業等が多い中、会社ロゴマークの商標権を確保し活用することで、他社との差別化やブランド力の向上、同社への信用・信頼の向上につながっている。その結果、主力商品の米の売上額が対前年比30%以上の伸びとなる顕著な成果を得た。また、登録商標を用いてブランド化を進めたことで市場相場に左右されない安定価格での取引が可能となり、新規顧客からの引き合いや EC サイトからの受注も増加し、販路の拡大につながっている。また新たに新事業として、米の持ち運びにも使用できるトートバッグを商品化し販売を開始した。トートバッグには、大きく印刷した登録商標済みのロゴでアピールし、よりブランドの発信に努めている。

#### 企業コメント

数年前に商標登録を相談したときは、弁理士の先生に難しいと言われていましたが今回担当してくださった担当者さんが親身になって相談に乗ってくださり念願の登録をすることができました。ありがとうございました。

## 小浜の自然素材から生まれたガラスブランドの商標登録支援

### 【ガラス工房 KEiS 庵】 <https://keis-an.jp/>

沖縄で修業した庵主が、2008年7月に地元小浜市で立ち上げた吹きガラス工房。ここにしかないガラスを追求し、2022年3月に海から生まれたガラス「OBAMA blue」、2025年6月シカから生まれたガラス「OBAMA blue 澁青」の販売を開始。工房内に制作、販売、体験のスペースを設けている。



「OBAMA blue」  
商標登録第6991067号

#### 支援概要

「OBAMA blue」はブランド立ち上げから3年を迎え知名度が日に日に大きくなっていくところでした。これまではカタカナやアルファベットなどの複数の表記がありましたが、ブランドの成長に伴い表記が「OBAMA blue」に固まっていったことを機に商標出願をご決断され、支援を開始しました。商標出願後に早期審査申請の支援も行いました。

#### 支援成果

早期審査の対象になったことから、商標出願から3か月後に商標登録が完了。「OBAMA blue」は地元小浜市の天然素材を原料に用いることで、ブランドを通じて小浜の魅力を多くの人々に知ってもらいたいとの思いが詰まったブランドです。ブランド立ち上げ当時は海由来の天然素材のみでの展開でしたが、今では山由来の天然素材を活用した新ブランド「OBAMA blue 澁青」もリリースすることができました。

#### 企業コメント

私は美しいものを作り出すのが大好きです。そしてこの工房でしか出来ないものを作りたい、と数年試行錯誤してようやく「OBAMA blue」にたどり着きました。一生懸命制作していましたが、「作るだけではなく、それを守る事もした方が良いのでは」とアドバイスを受けて今回相談をしました。初めは何も知識の無いので相談するのも恥ずかしい気持ちでしたが、担当者の方がわかりやすく丁寧に説明して下さい、「この工房にとって一番良い方法を」と親身になってくれました。商標の取得は制作するプライドにもなります。これからも一層良いもの作りを目指し、更には地元へ貢献できるような工房に発展させていきたいと思っております。